

# 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 1日

仕事の内容	献血及び献血推進協議会に関すること（保健事業費）					
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名	志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

（総合計画書 47 ページ）

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業 2	保健事業費
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）			
	東大和市民				→ 85,728人（平成30年3月1日時点）			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）			
	献血事業を理解し協力する				→ 献血者総数			
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
市内での献血実施、ホームページ・コミュニティビジョン・チラシ配布等による広報				→ ①市内での献血実施回数 ②うち、市役所での実施回数				

2 指標の推移		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	86,071	85,942	85,728	
	成果指標	②の数値	人	344	399	333	
	目 標	②の目標値			344	399	
		目標値設定の考え方	前年度献血者総数の維持				
活動指標	③の数値	回	8	10	①8 ②3		

3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円				
		（うち受益者負担）	円				
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数（再任用）	人				
		職員人件費（再任用以外）	円	1,646,600	1,653,400	1,650,600	
職員人件費（再任用）		円					
事業費＋人件費		円	1,646,600	1,653,400	1,650,600		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	開始時期不明。東京都赤十字血液センターと連携し、地域における血液思想の普及と献血の推進を図る。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	なし

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
		なし

仕 事 の 内 容	献血及び献血推進協議会に関すること（保健事業費）				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村 明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。					
なし					
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。				
	コミュニティビジョンの利用、実施時間の延長。				
(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。					
200m l 献血の希望者に対して必要量が少なく、献血する意思があっても実際にできない人が出てしまった。400m l 献血を優先的に奨めたい。また、実施時間を延長したことにより献血者数が微増した。					
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性（「7 課題（2）」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	今後とも市報・チラシ・ホームページ・コミュニティビジョン等を活用して詳細な告知を行う				
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。				
引き続き、献血実施の協力依頼（赤十字血液センターが主に調整を行う）					
(3) 改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。